●●●グループホーム個別情報●●●

※掲載されております情報につきまして不明な点等ございましたら、直接ホームにご確認ください。

平成18年11月1日現在

1. 基本情報

グループホーム名	グループホーム るんびにぃ苑	ᇎ		/-	11	. :	〒691−0075
開設年月日	平成12年11月1日	所		在	ഥ	Ľ,	〒691-0075 出雲市園町2606-1
代 表 者	理事長 飯塚 大幸	事	業	Ì	- 体	1	社会福祉法人 真心会
電 話 番 号	0853-67-0810	管		理	者	4	金築 良和
E-mail アドレス		F	Α	X 耆	备 号	} (0853-67-0457
12		*	— 1	√ ペ	ージ	۲	
M 刀(提 携 <i>)</i> 医		ユニ	ット数	女と利力	用定員	1	1 ユニット 利用定員 9名
点 次 版 为		現	在プ	居	者数	ţ S	9名

<近隣図>



<建物の概観>



2. 事業の目的及び運営の方針

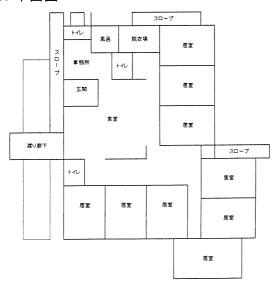
(事業の目的)本事業は、認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な雰囲気の中で、食事・入浴・排泄等の日常生活の世話及び心身の機能訓練を行うことにより、安心と尊厳のある生活を、利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立して営むことができるよう支援することを目的とする。

(運営の方針)1.本事業所において提供する認知症対応型共同生活介護は、介護保険法並びに関係する厚生省令・告示の趣旨及び内容に沿ったものとする。

2.利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、個別の介護計画を作成することにより、利用者が必要とする適切なサービスを提供する。

- 3.利用者及びその家族に対し、サービス内容及び提供方法についてわかりやすく説明する。
- 4.適切な介護技術をもってサービスを提供する。
- 5.常に、提供したサービスの質の管理・評価を行う。

3. 平面図



4. 建物の概要

建	物	の	形	態	木造平屋建て造り
建	物	の	構	造	□ 単独型 ■ 併設型
広				+	敷地面積 10,095.00 ㎡ 延床面積 189.28 ㎡
1/4				c	1室あたりの居室面積 11.40 ㎡
=	人部	屋(の有	無	□有■無

5. 利用料等

介護保険 1割負担分										
	月晚休候 1的复复力									
介	護度	区	分	1日		医療連携体制加算	月30日			
要	支	援	2	831	円		24,930 円			
要	介	護	1	831	円		24,930 円			
要	介	護	2	848	円		25,440 円			
要	介	護	3	865	円	_	25,950 円			
要	介	護	4	882	円		26,460 円			
要	介	護	5	900 [円		27,000 円			

介護保険外	諸経費(標準)		
家賃	月額	24,000	円
食費	日額	1,480	円
理美容代		2,600	円
紙パンツ		2,100	円
パッド		670	円
紙おむつ		2,790	円
水道光熱費	日額	500	円
布団・シーツリース代	月額	2,100	円
紙おむつ・パッド処理代	月額	1,200	円

※入所30日間は別途初期加算1日30円必要 保証金(入民一時金)口 友

保証金(入居一時金)□有 · ■無 保証金有の場合の償却の有無□有 · □無

6. 職員の概要				
	8名			
	(内訳)			
	常勤 専任 6 名			
総数	兼任 1 名 ➤ 常勤換算 7.60 名			
	非常勤 専任 1 名			
	※職員の勤務時間を1週間あたり40時間とした場合の常勤換算	算数		
	※職員の1週間の勤務延時間数 304 時間の場合 304 時間÷	- 40時間=1	常勤換算数 7.60 名	7
夜間体制	■ 夜勤 1名 □ 宿直			
	□ 専仟 ■ 兼任(兼任の施設等 デイサービスセンターるん)	びにい苑、る/	んびにい苑居宅介護支	援事業所)
	資格 介護支援専門員、社会福祉主事	01-0750		12 T X(I) /
	認知症高齢者のケアの経験年数 22 年 7 ヶ月			
	認知症介護に関する研修の受講歴			
	●認知症介護実践研修(旧痴呆介護実務者研修)			
 管理者		受講済	□ 未受講	
		受講済		
		受講済		
		受講済		
	●上記の研修の他に受講した研修名	文碑归	口 不文語	
	●工品の助修の他に支講した助修石 なし			
	では 資格 介護福祉士、介護支援専門員			
	認知症高齢者のケアの経験年数 14 年 5 ヶ月			
	認知症の護に関する研修の受講歴			
	●認知症介護実践研修(旧痴呆介護実務者研修)			
計画作成担当者 氏名(影山 陽子)		□	口土巫进	
八石(彩山 物丁)			□ 未受講 □ 未受講	
		文舑湃	山 木文碑	
	●上記の研修の他に受講した研修名 なし			
	では、			
	負債 月度価値工 3 有			
	 認知症介護に関する研修の受講歴			
	●認知症介護実践研修(旧痴呆介護実務者研修)			
その他職員		講済者 1	夕	
ての心城兵		講済者 1	_	
	●上記の研修の他に受講した研修名	碑月日 '	11	
	●工品の助修の他に支講した助修石 なし			
	1,40			
	資格 特になし			
	認知症高齢者のケアの経験年数			
 (再掲)	認知症介護に関する研修の受講歴			
ホーム長 ※注	●認知症介護実践研修(旧痴呆介護実務者研修)			
氏名()		受講済	□ 未受講	
		受講済		
	●上記の研修の他に受講した研修名	~µ17//	_ /\XIII	
	なし			
1 1				

7. 入居(者)の概要

	入居人数 9名 ·内訳 男性 1名 女性 8名
	要介護1 0名 要介護2 1名
現在の入居者の状態	要介護3 5名 要介護4 1名
	要介護5 2名
	平均年齢 88.1 歳 (最低 79 歳 最高 96 歳)
入居にあたっての条件	要介護者であって認知症の状態にあり、かつ次の各号を満たす者 1.少人数による共同生活を営むことに支障がないこと 2.自傷他害の恐れがないこと 3.常時医療機関において治療をする必要がないこと
退居にあたっての条件	次の一に該当する場合は退去となる 1.要介護の認定更新において自立もしくは要支援と認定された場合 2.利用者又は利用者代理人が契約の解除を通告し、予告期間が満了した日 3.事業者が契約の解除を通告し、予告期間を満了した日 4.利用者が病気治療等、長期にグループホームを離れることが決まり、かつその移転先の受け入れが可能となった時 5.利用者が他の介護療養施設等への入所が決まりその施設での受け入れが可能となった時 6.医療行為が常時必要となり、通常の介護では受け入れが出来ないと事業者が判断した時

8. ホームの1日の流れ

6:00	7:0	00 8:0	00 9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	0:00
起	床	朝食			お茶会 体操	昼	食		個人	浴 活動 茶会		5	'食		就	寝		

9. 入院した場合の対応について

入院等による入り	舌継続の可否		
■ 入居継続	可		
\rightarrow	・入居継続可能期間 (約1ヶ月)		
	・入院中、ホームに支払う費用 ■ 家賃	□ その他費用	□ 無し
□ 退居			

10. 「ターミナルケア」の実施について

-				
ターミナルケアの実施	□ 実施可能	■ 実施不可能	□ 要相談	

11. 個人情報(プライバシー)保護に関する取り組み

12. その他

家族の面会時間の設定の有無	■ 有(8時~21	時) 口無		
入居者家族会の有無	■ 有	□ 無(⇒今後の)策定の予定 口 有	□ 無)
1元二,从数型八角面入八	参加を呼びかけてい の花見や遠足をし、		たり、買物へ出かけたり と交流をもったりしている	. •